

## 創立 170 周年記念式典

11月3日（木・祝）本校は創立170周年を迎え、「記念式典・記念講演・記念公演」が体育館にて開催された。当日は、来賓・一般参加者・実行委員・学校職員・2学年生徒（1・3学年はHR教室にてリモート視聴）などあわせて約280名が参列した。

### 第一部記念式典

岡本幸子氏（高校39期）の司会進行により、竹中滋基副実行委員長（PTA会長）の開会宣言、国家・県民歌・校歌静聴、大西弘之学校長式辞、大西義弘実行委員長（同窓会長）の挨拶で始まった。赤坂知事室長（県知事代理）・宮崎教育長の来賓祝辞の後、森裕美実行委員から記念寄付目録が贈呈され、生徒代表挨拶では梶本千尋生徒会長が「素晴らしい伝統を後輩に伝えていきます」と爽やかにそして力強くあいさつした。

### 第二部記念講演

県福祉保健部技監 野尻孝子氏（高校25期）が「新型コロナウイルス感染症との闘いに思う～梧陵さんの心の継承～」と題して講演された。「村民救済と郷土愛」という梧陵翁の信念は、「予測力」と「判断力・行動力・指導力」そして「予防策の実施」という後世に語り継がれる業績を残した。これらは新型コロナウイルス感染症対策に直接携わる者として大いに影響を受けていると語られた。そして生徒たちには「よく考え行動する。失敗を恐れない。健康な体と精神を。そして仲間が力になる」という言葉が贈られた。

### 第三部記念公演

「ファミリーコーラスほほえみ」による「歌と朗読による生涯劇『梧陵さん』」が上演された。池永義子代表（高校21期）が構成・作詞・作曲を担当し、濱口梧陵の生涯を力強いコーラスと明瞭な朗読で語り上げた。最後は本校合唱部も参加し「梧陵翁の夢を」の迫力ある大合唱で公演は幕を閉じた。

